

○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

平成29年6月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、国の補正予算に対応した用地・測量等のストックづくりについてであります。

このことについて一部の委員から、国の補正予算に対応するためには、工事箇所の測量・設計や用地買収を進め、速やかに工事に着手できる準備をしておく必要があると思うがどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、補正予算に対応するためには、測量・設計や用地のストックづくりは非常に重要であると考えており、従来から準備してきたところであるが、昨年度の国の大型補正によりストック量が減少していることから、今年度、各地方局建設部や土木事務所に対し、ストック確保の要請を行ったところである。

今後とも、国の補正予算等に確実に対応するため、用地取得等のストックの確保に努めていきたい旨の答弁がありました。

第2点は、とべ動物園の魅力向上に向けた取り組みについてであります。

このことについて一部の委員から、とべ動物園の魅力向上に向けた取り組みの現状はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、とべ動物園は県内有数の集客観光施設であり、来園者等から高い評価を得ているが、更なる魅力向上に向け、今年度、動物園を総合的かつ戦略的に演出するプロデューサーを配置することとしている。

しかしながら、全国的に動物園をプロデュースできる専門家は少ないことから、まずは企画や観光、地域活性化等の分野に精通し、全国的に活躍している専門家から、プロデュースの内容や進め方等について直接意見を聴くなどの検討を進めているところであり、今後、検討の内容を総合的に勘案して動物園のプロデューサーを決定する予定である。

その後、動物園関連の有識者等で構成する検討委員会を設置し、新たな企画

や経営等の観点から議論を深め、今年度中に基本方針を取りまとめた上で、とべ動物園の魅力向上に全力で取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第3点は、土砂災害に対する取り組みについてであります。

このことについて一部の委員から、土砂災害防止法に基づく基礎調査の進捗と今後の見通しはどうか。また、土砂災害に対する県民の理解促進に向けた普及啓発活動の内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、基礎調査の今年度末の調査完了数は約 8,000 箇所、進捗率は約 50%となる見込みであり、計画どおり 31 年度には、県内全ての土砂災害危険箇所の調査を完了させることとしている。

また、普及啓発については、まずは地域における土砂災害の危険性を認識していただくことが重要であることから、基礎調査結果の速やかな周知や土砂災害警戒区域指定の促進を図るとともに、6月の土砂災害防止月間の際には、関係機関と連携した危険箇所のパトロールや防災訓練、小中学生を対象とした砂防学習会等を行っているところである。

今後とも、土砂災害から県民の生命と財産を守るため、ハード対策の着実な推進とともに、早めの避難につながるソフト対策の更なる充実を図ることにより、土砂災害による犠牲者ゼロを目指していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・南予レクリエーション都市公園事業
- ・防災拠点施設の耐震診断の状況
- ・河川工事等の環境への配慮

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。